

定時制の校長から（11月）

～ 秋の思い出 ～

道を歩いていると色とりどりの木々や秋の花がとても綺麗で、吹く風に爽やかさを感じます。やはりこの季節は、こうして歩いてみて季節の変化を楽しみたいものです。

今年の夏はとても暑くてたいへんでしたが、11月初旬は秋晴れでとても過ごしやすい毎日が多かったと思います。成城高校の定時制では、10月から後期が始まり新しい勉強をスタートしています。この間に3年生は沖縄への修学旅行、そして他の学年は校外学習がありました。また、文化祭も11月に行われました。

沖縄への修学旅行は9時半の集合時間には全員が揃っていませんでした。私は見送りに大阪空港へ行っていたのですが、「校長先生は行けへんの～？」と何人もが言ってくれました。皆がほんとうに笑顔でした。なんと一番早い人は空港に8時前に来ていたとか・・・出発前の先生の説明もきちんと話を聞いており、この修学旅行は成功すると思えました。沖縄では小雨が降ったりすることが多かったようで、予定していた景勝地の万座毛へは行けなかったようですが、マリンスポーツなどの他の目的はすべて実施できたようです。写真を見せてもらいましたが、ほんとうにみんな楽しそうでした。高校生活の一番の思い出が、成城の仲間と作れてよかったと思います。

1年生は神戸・須磨へ、2年生はUSJへ、4年は京都への校外学習へ行きました。校外学習の目的は、それぞれの場所での活動や体験などですが、仲間たちとの行動も一つの目的です。学年で仲良くなり、楽しそうに行動していた生徒を見てみると、とても嬉しくなりました。私も高校一年の校外学習は、大津の三井寺へ行った微かな記憶があります。生徒たちも、今回の校外学習で仲間と行った須磨や神戸などが高校生活の思い出になってくれることでしょう。

11月には文化祭もありました。成城高校定時制の最大のイベントです。初日に模擬店と展示。二日目には体育館での舞台です。歌やダンスなどみんなで盛り上がっていました。夜の文化祭ですが、廊下に提灯を吊るして会場の雰囲気も上々で、生徒の表情がとても楽しそうでした。模擬店での調理員、販売、展示での作品づくり、そして舞台でのパフォーマンスと生徒一人ひとりが活躍できる場があるのが、とても素晴らしいと思えました。文化祭が終わってから、4年生が「最後の文化祭かと思うと寂しい」と語っていたのが印象的でした。こんなふうに思い出がいっぱいできて良かったと思います。

さて、成城高校の最寄駅はJRの放出駅と地下鉄の深江橋駅です。生徒の半数が自転車で来ていて、遠くは門真や北区からも来ています。また1割位が単車（許可制で50cc）で、仕事帰りの服で来る生徒もいます。あとは電車で駅から歩いて来ています。深江橋からは10分弱ですが、私は放出駅からなので15分くらい歩いています。学校と放出駅の行き方は二通りあるのですが、私は放出街道と言う一方通行の道を利用しています。こちらへんは菅原道真ゆかりの場所で、左専道（左遷ではありません）という地名であったとのことで、昭和の頃からあるのだろうなという、古くからある商店のある道を歩いていると15分も短く感じます。また、この道沿いにはコンビニもありません。生徒たちも話をしながら楽しそうに歩いています。こうした何気ない毎日の通学路での友達とのおしゃべりもまた高校生活の良い思い出になるのだろうなと思います。

今月も最後まで、お読みくださいましてありがとうございます。